

歴史を感じるジョージタウンの街と大学（フォトエッセイ）

著者	ダルウィッシュ ホサム
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	255
ページ	30-33
発行年	2016-12
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00018796



① ポトマック川から見るジョージタウン。ジョージタウン大学のヒーリー・ホールの時計塔が見える

■フォトエッセイ■

歴史を感じるジョージタウンの街と大学

写真・文 ダルウィッシュ・ホサム

アメリカ・ワシントンDCのジョージタウンは、南をポトマック川が流れ、高級ファッション店やレストランが集まるおしゃれで活気のある街だ。多くの政治家、財界の大物やメディア関係者などが住む高級住宅街もある。流行りのブティック、カフェ、レストランなどが集まるM・ストリートは夜遅くまで賑やかで、若者がジョージタウン・カップケーキ店の前で行列を作っている（写真①②）。

ジョージタウンにはレンガや石を敷き詰めた道が多い。歴史を感じさせるレンガ造りの家が連なり、石畳の小道を歩けばノスタルジックな気分になれる。急な坂道も多く、特にM・ストリートとプロスペクト・ストリートを結ぶ「エクソシスト・ステップス」と呼ばれる階段は、七五段の急勾配だ。M・ストリート沿いには、オールド・ストーン・ハウスというワシントンDCで唯一現存するイギリス植民地時代に建てられた家がある（写真③）。大統領の葬儀など様々な国家行事にも使われるワシントン大聖堂や、一九四四年に国際連合設立のための準備会議が行われたダンバートンオークスという庭園と邸宅を改築した博物館もある。ジョージタウンは見所も食べる所も豊富で、一年を通して観光客の足が絶えない。

ジョージタウンは、アメリカ建国前、タバコ流通の港町として栄えていた。独立戦争後にワシントンDC（コロンビア特別区）の一部となった。アメリカの国歌を作詞したフランシス・スコット・キーの故郷でもあり、バージニア州のアリントンとジョージタウンを結ぶポトマック川にかかる橋はキー・ブリッジと名付けら



④ ジョージタウン大学創設者、ジョン・キャロル大司教の像



② (左上から時計回りに) 街の中心にある PNC 銀行、石畳の道、行列のできるジョージタウン・カップケーキ店、ポトマック川沿いにあるウォーター・フロント公園



⑤ ジョージタウン大学のマスコット犬があちこちに



③ (左) 1973 年作の映画「エクソシスト」のラストシーンに登場する急な階段。
(右) ワシントン DC で最古の建物オールド・ストーン・ハウス

れている。

こんなジョージタウンの西側にあるのが、筆者が派遣されている全米で一番古いカトリック・イエズス会系の大学、ジョージタウン大学だ。四つのスクールと三つのキャンパスがあり、一万二〇〇人以上の学部生と大学院生が所属している。本エッセイでは、ジョージタウン大学の美しいキャンパスと歴史的建造物を紹介したい。

ジョージタウン大学はアメリカでも有数の名門私立大学だ。一七八九年にイエズス会のジョン・キャロル大司教によって設立された(写真④)。信仰にかかわらず誰でも学べる大学を作りたいという思いがあったという。全米で初めてムスリムの学生のためにフルタイムのイマームを常駐させた大学でもある。一八一五年には学位を授与できる大学として正式に認定され、二〇〇年以上にわたって著名な政治家や外交官を輩出してきた。特に政治や国際関係などの分野で世界屈指の大学で、卒業生にはアメリカ大統領のビル・クリントンや各国首脳が名を連ねる。

大学の公式カラーは青とグレーだ。これは南北戦争に由来する。南北戦争の影響で学生数が激減し、キャンパスの建物が病院として使われ、当時大学は存続の危機に直面した。南北戦争が終結すると、南北の再統一を記念し、学生達はユニオン(北軍)の青とコンフェデレート(南軍)のグレーを大学の公式カラーに選んだという。大学の公式マスコットは、「ブルドッグのジャック」(写真⑤)。ジョージタウン大学のスポーツイベントに必ず登場する有名犬で、



⑧ ヒーリー・ホールの前に鎮座する大砲



⑥ フィールドの真ん中にもジョージタウンの「G」

一五八八年のスペイン無敵艦隊とイングランド艦隊が戦ったアルマダの海戦を出自とする二つの大砲が置かれている。この大砲は、一六三四年にイギリス領植民地メリーランドへ渡る入植

大学のシンボルマークにもなっている（写真⑥）。では、大学の建造物をみてみよう。

●ヒーリー・ホール（写真⑦⑧⑨）

大学のメインゲートを通ると広場があり、その正面に立つのが一八七七～七九年にかけて建設されたヒーリー・ホールだ。大学のシンボルの建物であるヒーリー・ホールの入り口の前には、



⑦ メインゲートの正面に立つヒーリー・ホール

者に乗せた船に積まれ、アメリカに運ばれたもので、一八八八年に大学に寄贈された。北塔には名誉学位授与式などに使われる講堂ガストン・ホールがある。現在は主にオフィスとして使用されているが、以前は講義用の教室だけでなく、寮としても使われていた。時計塔は昔から変わらず時刻を告げてくれる。

●リッグス・ライブラリー（写真⑩）

ヒーリー・ホールの南塔にあるリッグス・ライブラリーは、一八九一年から一九七〇年まで大学のメイン

ライブラリーとして使われていた。議会図書館の設計も担ったポール・ペルズによって建てられたこの図書館の内部装飾には目を見張るものがある。現在は書庫としてだけでなく、レセプションやイベント、撮影によく使用されている。

●オールド・ノース（写真⑪）

オールド・ノースはメインキャンパスで最も古い講義棟である。これまで二十四人のアメリカ大統領がスピーチをしている。一七九七年には初代大統領のワシントンが、一八六一年にはリンカーンがここで演説し、二〇一四年にはオバマ大統領が気候変動に関するスピーチを行った。現在は大学の公共政策センターが置かれている。

●ヘイデン天文台（写真⑫）

一八四四年にキャンパスの小高い丘に白色のヘイデン天文台が建てられた。アメリカで三番



⑩ 装飾が美しいリッグス・ライブラリー



⑨ 演奏会や学位授与式などが行われるガストン・ホール

アジア経済研究所・地域研究センター研究員。
現在、ジョージタウン大学の現代アラブ研究センター客員研究員。
専門は現代エジプト政治・中東政治。



⑫丘の上に佇むヘイデン天文台



⑬信者の祈りの場、ダールグレン礼拝堂



⑭エドワード・バン・国際文化センターと広場



⑮石造りのホワイト・グレイベナー・ホール



⑪歴代大統領も演説をしたオールド・ノース

目に古い天文台だ。ジョージタウン大学の天文学部が置かれていたが、ワシントンDCからの大気汚染によって研究用の観測が難しくなり、一九七二年に天文学部は閉鎖された。現在は生物学部がこの建物を使っている。

●ダールグレン礼拝堂 (写真⑬)

一八九三年に完成したこの礼拝堂は、キャンパス内で最大の礼拝の場所だ。ジョージタウン大学の卒業生の結婚式や洗礼式の場所として人気が高い。礼拝堂に入ると左右にパイプオルガンが置かれ、その間の美しいステンドグラスが印象的である。

●エドワード・バン・国際文化センター (写真⑭)

多くの教授のオフィスや、名高い外交政策・国際関係大学院 (School of Foreign Service)

が入っている。筆者が所属する現代アラブ研究センターもこのなかにある。

●ホワイト・グレイベナー・ホール (写真⑮)

一九三三年に完成した石造りの荘厳なこの建物は、一六三四年に植民地メリーランドに渡ったイエズス会信者の名前をとってホワイト・グレイベナー・ホールと名付けられた。入り口の上の出窓には、学問の分野を表すシンボルが彫られ、それぞれのシンボルの下に、その分野で著名なイエズス会の教育者の名前が記されている。現在は学長室、教務課、入試課などのオフィスや講義室として使われている。

ワシントンDCのなかでも歴史を感じられるジョージタウンの街と大学。ワシントンDCを訪れる機会があったら、ジョージタウンにもぜひ足を延ばしてほしい。